

こくりにゅうだより



九月号

おしらせが新しくなりました！
皆様のご意見・アイデアも
引き続き大募集しています！！

大阪府立池田高校 2年 原田 茉鈴

「九月中旬に咲く彼岸花をメインに描き、夏の終わりの涼夜を表現しました。」

9/9(土)10:00~16:00 第3回とよなか国際交流フェスタ

今年もとよなか国際交流フェスタがやってくる！

昨年販売開始30分で売り切れた大人気フード販売のほか、掘り出しものバザー、ステージ発表、切り絵・楽器体験など盛りだくさんの1日です！民族衣装の体験&写真撮影もできますよ！

この日は5階すてっぷライブラリーまつりと豊中駅前ジャンプフェスタも同日開催。9/9(土)は豊中駅周辺にみんなあつまろう～！！



夏休みを思いっきり楽しむ！！イベント&活動報告



8月19日(土)に、おまつり地球一周クラブで「簡単キムチづくり」を行いました。先ず「キムチの豆知識」で、①1300年ほど前、冬に野菜を食べるために塩づけ保存した。②名前は沈菜(チユムチエ)が変化した。③300年ほど前、豊臣秀吉軍が持ち込んだ。④乳酸菌・ビタミンが豊富で体調を整え栄養があるので広がった。などをクイズ形式で学びました。実際のキムチ作りは、①ボールに梨、玉葱、生姜、ニンニクをおろす。②①に唐辛子、砂糖、イカ塩辛、だし昆布、いりごま、ご飯を入れてしっかり混ぜる。③前日に切って塩づけしておいた白菜にまぶせて出来上がりです。「おいしい!」「からい!」「家でも作ろう!」とそれぞれの感想を出し合っ、お持ち帰りの参加者は大満足の顔と顔でした。

コラム 「少しだけ北の国から@福島

辻 明典

～巨大な防波堤と、津波を免れた神社と祠～

こここのところ、海を気軽に眺めることができなくなってしまいました。東日本大震災の復興工事と称して、巨大な防波堤が、海岸沿いに造られはじめたのです。きっと、津波を防ぐためなのでしょう。



海が見えないだけではありません。防波堤の側に立っても、波の音も聴こえなければ、潮風を感じることもできません。海が存在が、急に遠くになってしまったかのような気分です。と

ころで、この防波堤の近くの集落を歩くと不思議な光景が立ち現れてきます。集落は壊滅状態で、ほとんどの家屋は流されてしまったのですが、神社や祠だけは津波を避けるかのようにやや小高い場所に立っていて、ほぼ無傷で残っているのです。それも、一つや二つではありませんでした。

余りにも不思議なので図書館で郷土史等を調べてみたのですが、神社や祠が建立された時期は定かではありませんでした。ただ、相当昔から建っていることだけは事実のようです。1000年ほど前にも巨大地震と津波がこの地を襲ったということですので、津波が届かなかったぎりぎりの場所に、警告のメッセージを込め

て、神社や祠を建てたのかと思われます。



神社や祠と防波堤を見比べていると、なんだか複雑な気分になってきます。どれほど高い防波堤を建てたとしても、津波が防げるとは思えません。でも、津波の被害を受けて、「もう海は見たくない」という人の気持ちもよくわかります。ただ、自然をコントロールできる、津波を押さえ込めると思っていると、いつかまた大きな悲劇がおこるような気がします。みなさんは、どう思われますか？

スタッフおすすめ図書



「そして、星の輝く夜が来る」 (真山仁著・講談社)

昔、研究者を目指していたこともあり、家には多文化共生や日本語教育の専門書がたくさんあります。が、専門書ばかり読んでいると、頭がぎゅっとしてしんどくなるので、時々小説を読みます。昨年、人から「おもしろいよ」と薦められるままに、息抜きのつもりで読んだのが、この本。

「東日本大震災の爪痕が残る東北地方の小学校に神戸から応援教師が赴任し、心に傷を負った子どもたち、親や地域の人たちとの本音の交流を進めていく中で被災地が抱える問題と向き合っていく」。息抜きのつもりが、「震災」にとどまらず、「子ども」「支援・ボランティア」「原発」「対話」などについて、当事者の視点から考え直すきっかけや視点がたくさんあり、結局、自分や仕事のこととかを重ね合わせて読んでいました。さくっと読めますが、ずばっと問いかけてくる、そんな一冊です。(協会事務局長・山野上隆史)

＼ Youは何しに国流へ？ ／ 新コーナー！センターで活動している人を紹介します☆

私はフランスで育ち、中学2年生の時に親の仕事の都合で日本へ引っ越しました。翌年の2010年の3月に母に連れられて初めてセンターに来たのがきっかけです。

ここにプロ(子どもにほんごプロジェクト)で日本語を学び、学習支援サンプレイス(毎週日曜13~15時)の活動にも参加していました。今は、参加する子どもではなくボランティアとして活動をしています。子どもとして参加しているときから、ボランティアになることは考えていました。



ここに来ている理由として、私の感覚でいうと「外の日本よりもフランスっぽい雰囲気」を感じていました。多様な人がいて、学校ではできない話もできる。ここでしか会えない同年代の友達もできました。日本で暮らす中で、「自分がフランス人である」感覚を残しておきたかったのかもしれません。

今私が活動をしている「若者のたまりば」(毎週日曜17時~)では、ルーツを持つ若者たちがみんなでご飯を作ったり、話をしたり、ゆる〜く活動を続けています。そのゆるさがすごく好きだし、私には合っていると思います。



子どもサポート事業・
若者支援事業ボランティア
かぎのはな けい
垣花 慧さん(22)

8/27(日) カホンをつくろう！ フォトレポート



組立は木工用ボンドで！



演奏ワンポイント
レッスンのあとの
セッション風景。



講師はマルチミュージシャン・
音楽プロデューサーのkantaさん。参加者28名でした〜！

コラム なんぢや・カンチャ言わせてもらえば(第101回)

「一瞬の幸せを紡ぐ本」 皇甫康子(ふあんぼ・かんぢや)

「アウシュビッツの図書係」(集英社)という本を見つけました。絶滅収容所に図書館があったのか、と疑問に思い本を読んでみると、収容された子どもや教師のために命を懸けて、本を届ける少女の話でした。図書館と言っても、秘密裡に持ち込まれた8冊と人が本の内容を話す生きた本、6冊です。

31号棟は家族収容所で、学校があり子どもたちが学んでいます。収容所では快適な暮らしをしていると、外国の監視団に思わせる宣伝のためのものでした。ナチスの思惑とは別に、飢餓や選別、死と隣り合わせの生活でも、子どもたちに生きる希望を持ってほしいと願う大人たちの努力で、学校は守られていました。16歳のディタは、プラハ生まれのユダヤ人です。1939年3月15日のドイツ軍のチェコ進駐により、9歳だったディタは学校に行くことも、公園で遊ぶことも禁止され、自宅からテレジーンのゲットーに、そして1943年12月に、アウシュビッツに移動させられました。少女の生活は追い立てられるように、どん底へと沈んでいきました。そんなディタを救ったのが、父親から勧められて持ち出した、トーマス・マンの「魔の山」でした。投げやりな気持ちが本の世界に入ることによって癒され、残酷な現実から解放されるのです。幸せだった以前の生活がよみがえり、人間らしい気持ちを取り戻すのです。ナチスに禁止されている本を持っているということは、処刑されるということです。そんな危険を顧みず本を隠し、運ぶことにディタは誇りを持ちはじめます。

ナチス崩壊間近のある日、ガス室に送られた、たくさんの子どもの灰が舞い降りてきました。手のひらで灰を受け止めて「おかえり」と声を掛ける先輩から、一瞬でも幸せなら生まれてきて良かったと思えるのだと、慰められます。残された無気力な子どもたちに、物語を読むと自然に笑いが生まれ、生きる勇気が湧いてきます。

著者のアントニオ・G・イトウルベは、アウシュビッツを訪問し、博物館の売店で見つけた本から、秘密の図書係をしていた少女が生き残っていることを知ります。80歳になったディタとの出会いで、この本が生まれました。プラハのユダヤ博物館で、テレジーンの子どもの絵をみたことがあります。その中にディタの絵もあったのです。

本との出会いは不思議です。素晴らしい人間の生き方に触れ、引用された本の楽しさを知り、本が読める幸せを感じながら、暑い夏を過ごしています。

登録グループの活動紹介



No. **豊中エスペラント会**
(写真中央が三澤さん・右から2番目が佐野さん)

半世紀つづくエスペラント活動

--お二人がエスペラントに興味を持ち始めたきっかけは何ですか？

佐野)卒業して就職で大阪にきた時、道を歩いていたらたまたま豊中エスペラント会講習のビラを見つけました。トータルで50年くらいやってるんじゃないかと思えます。

三澤)僕は高校の時ですね。梅田の本屋さんで面白い本ないかなって見てたら、「エスペラント4週間」って本がありまして。エスペラントって簡単だから4週間でできるのかなって思って買ってみたんです。本当は4週間でできなかつたけど(笑)。最初はただ単に面白そうだなと思って始めました。

--でも50年も良く続くなあと。まだまだ勉強することがあるということですかね。

佐野)エスペラントの柱っていうのは、ひとつは言語の公平性とか言語格差をなくすことです。それからもう一つの柱は、やさしくて勉強しやすいということですね。会話ができる程度にまではすぐにできるようになります。今はエスペラント語だけでもコミュニケーションがとれますが、そこから創作して小説でも書くともなればそれは無限大ですね。何万時間学習したってきりがありませんが、それは英語でも日本語でもエスペラント語でも一緒です。わたしは少なくとも10倍以上英語に時間をかけているけれども、いまだによくわからないですね(笑)

三澤)ぼくはあまり会話が得意なほうじゃないですね。日本語の会話も下手です(笑)

でも日本語だったら無口だけどエスペラントではよくしゃべるという人もいますから。

佐野)エスペラントは語順が自由なのでいちばん言いたいことから先にパツと言い出すことができるんです。たとえば、「私はあなたを愛します」。英語だった

とよなか国際交流センターには、市民による自主的な国際交流活動を支援するための登録グループ制度があります。実際の活動内容や国際交流への思いを伺いました。

ら「I LOVE YOU」。エスペラントでは、「ミービンアーマス」。「ミー」って私、「ビン」はあなたを、愛するは「アーマス」。それから「愛してんだよ〜、あんたを！」と言いたければ「アーマス、ビン」。これでも通じるんです。

「平等な国際交流」を目指す

--エスペラントの活動の中で国際交流の「目的」とか、そもそも「国際交流」をどういう風に考えておられますか。

佐野)エスペラントっていうのは主要な単語が1700単語で、各国語を基にして作られたものです。だから、多言語対応の言語なんですよ。だから、エスペラントを触媒にして色々なことができるんじゃないかと思っています。いわゆる言語の十字路ですね。あるいは、多言語の触媒になるんじゃないかと考えてます。ここ数年ずっとそれを思い続けてます。それを起点にして英語へいく、ドイツ語へいく、日本語へいく、とかですね。そういう例を作って、エスペラントが言語の触媒になる、ということを実証しようというか、そういうものを開発していけたらいいなあ、と思っています。それが、私があと残りの人生でそのエスペラント会の中でやるべき仕事なんじゃないのかなって思ってるんですけどね。

【活動についての問い合わせ先】

豊中エスペラント会 072-721-8303(佐野)

活動日時：毎月第1・第4土曜日 10:00~12:00

エスペラント語の学習・普及活動を行うとともに、歌曲の翻訳活動・発信活動などを実施しています。

とよなか国際交流センターお知らせ「こくりゅうだより」第101号

発行元・問い合わせ：(公財)とよなか国際交流協会

〒560-0026 豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F

阪急宝塚線豊中駅すぐ

開館時間：9:00~21:30 (貸室受付は20:00まで・水曜休館)

TEL：06-6843-4343 FAX：06-6843-4375

E-Mail：atoms@a.zaq.jp

WEB：http://www.a-atoms.info/



SNSも随時更新中！

「とよなか国際交流センター」で検索！